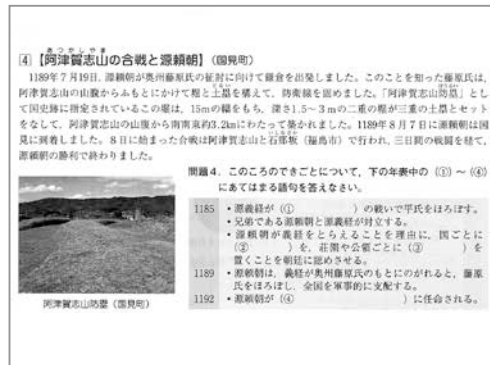




掲載された夏休みの友



掲載された箇所 (抜粋)

一般財団法人福島県教育会館が発行している今年度の「夏休みの友II」に、国見町が掲載されました。掲載された「夏休みの友II」は、中学2年生を対象とした教材で、社会科のページに福島県の歴史として取り上げられました。国見町の他には、白河市の白河の関や磐梯町の慧日寺などが掲載されています。阿津賀志山防塁や阿津賀志山の合戦につ

いての説明が記載され、源義経や源頼朝に関する問題が話題されています。「夏休みの友」は県内の中学校で夏休み期間の課題として、多くの中学生が取り組みます。阿津賀志山防塁が掲載されたことで、町内外の中学生に広く、国見町と義経や頼朝とのかわり、町の歴史や文化財について知ってもらおうきっかけとなります。

## 中学2年生「夏休みの友」 国見町阿津賀志山防塁が掲載

## ポール先生 ありがとうございました

英語指導助手のポール・ライダー先生が、任期を終え7月で国見町を離れることになりました。ポール先生は平成25年8月から3年間にわたり、子どもたちへの英語指導にあたりました。ポール先生からのメッセージを紹介します。



国見町のみなさんへ

私はポール・ライダーと申します。国見町に住んで3年になります。その間、ALT（英語指導助手）として県北中学校と国見小学校とくにみ幼稚園の子どもたちに英語を教えてきました。

国見町の子どもたちは本当に素晴らしいと思っています。なぜなら、人の気持ちを理解でき、勉強のやる気がある、そして、とても優しいからです。私はこんな素晴らしい生徒は見たことはありません。国見町の食べ物、鹿島神社例大祭、文化、国見町の人々と話すことなど、全てにおいて、国見町の生活を楽しみ、素敵な思い出を作ることができました。

でも、お別れを言わなければならない時が来ました。国見町での経験を決して忘れません。この愛する国見町との別れはとても辛いのですが、国見町が第2番目の地元だと思っています。だから Goodbye「さよなら」は言いません。その代わりに See you again「また会いましょう」と言います。

みなさん、ありがとうございました。



Thank you very much everyone!  
I'm looking forward to seeing you  
someday in the future.

All the best!

-Paul Ryder-



被災したままの家屋が数多く残る現地



り災証明発行の窓口

国見町では熊本県からの要請に応え、5月30日から6月3日まで、福島県派遣隊の一員として、職員1人（安藤充輝総務課課長補佐兼庶務係長）を熊本県嘉島町に派遣しました。熊本県嘉島町は熊本市や益城町と接する人口約9千2百人の町で、熊本地震では前震で震度6弱、本震で震度6強を記録し、死者3人、2千4百棟余りの家屋に被害が生じました。

福島県派遣隊は、現地の役場施設に寝泊まりしながら、東日本大震災の経験を踏まえ、り災証明発行や被災者の生活支援相談などを担当しました。また嘉島町は、人口が国見町と同規模のため、国見町復興計画の策定に関する資料のほか、国見町が震災復興にあたり必要とした条例等の制度や資料など、国見町が経験した震災のノウハウを提供しました。

## 国見町から熊本地震を支援へ 熊本県嘉島町への職員派遣